

No.	6つの柱・施策の柱・施策	担当部会	市担当課	部会意見	
全体に関わる共通意見					
0				<ul style="list-style-type: none"> ●施策評価表の「施策の達成状況」について、H29年度とH30年度の内容が全く同じで、ただ数字だけが変わった文章がある。その年の特色を反映した文章にすべきではないか。 ●施策評価表では、単年度の事業費は分かるが、過去の実績を説明してもらえると、経過として分かりやすい。何か工夫してほしい。 ●事務事業の概要が分かる資料があるとよい。 	
第1楽章 人と情報が行き交いにぎわいが生まれるまちづくり					
1	[1] 産業づくり	(1) 農商工連携	第1部会 経済観光課、農政課	<ul style="list-style-type: none"> ●新しく開発された特産品について、いつ、どこで、どのように開発されたのか、美唄観光物産協会等とも情報共有をはかる必要がある。 ●市の特産品について、市民でも分からない商品があるので、市民向けに更なるPRを行う必要がある。 	
2		(2) 農業振興	第1部会 農政課、農地整備課、農業委員会事務局	<ul style="list-style-type: none"> ●市街地にもアライグマが拡大しており、アライグマの捕獲に対するPRを強化してほしい。 ●市民がハスカップを食べることは、健康のPRにもつながる。美唄の農産物が高い評価を得ていくための役割は、市民にもある。 ●ハスカップ栽培について、収穫に人手がかかるなど課題があるが、栽培面積を減らさないよう、現状維持の努力を重ねてほしい。 	
3		(3) 商工業振興	第1部会 経済観光課	<ul style="list-style-type: none"> ●駅前にホテルができ、インバウンドによる買い物等々が期待できるようになってきたが、受け入れ態勢を整える必要がある。特に西側商店街については、過去に法人格を持った100社近くあったものが現在は10数社となっている。市も加わり西側地域の活性化に取り組んでほしい。 ●中心市街地ではインバウンドなどの観光客の受入が問題になってくる。今はチェックの段階だが、問題なのはアクションがどうかということ。具体的に何をしていくのか。どういう方向性になっているのか。協力隊3人に対する費用対効果がポイントになる。そうしたデータをしっかり取りながら、見直し・改善を図ってほしい。 ●ハイテクセンターについては、入居率が50%と厳しい。例えば、コールセンターなど、新たな事業所の誘致に力を入れる必要がある。 	
4		[2] にぎわいづくり	(4) 観光・交流	第1部会 経済観光課、企画財政課	<ul style="list-style-type: none"> ●美唄ブランドの情報発信の取り組みとして、アスパラなどの以外にも地元ならではの産品を検討しているものがあり、それらを含め、更なる情報発信に取り組んでほしい。 ●炭鉄港について、美唄観光物産協会としても、市等と連携して取組んでいきたい。 ●美唄富良野線の開通を見据え、道の駅等の観光を意識した施策を講じた方がよい。 ●駅を中心に面としての取り組みが大切だ。細かい標識など、何かつながりのある対策に力を入れてほしい。市の中心部に賑わいが無いといけない。
5			(5) 公共交通	第2部会 生活環境課	<ul style="list-style-type: none"> ●スーパーや病院などと連携した巡回バスの運行を考えてほしい。
6			(6) 情報化推進	第3部会 秘書広報課、市民課	<ul style="list-style-type: none"> ●情報化が進む中で、それに触れられない高齢者向けの情報提供が課題としてある。高齢者向けに、分かりやすい情報提供の仕方を検討していただきたい。

No.	6つの柱・施策の柱・施策	担当部会	市担当課	部会意見
第2楽章 人と文化を育み交流が広がるまちづくり				
7	[3] 人づくり	(7) 子育て支援	第3部会 こども未来課、健康推進課、学務課、生涯学習・スポーツ振興課、市民課	<ul style="list-style-type: none"> ●幼稚園維持修繕事業については、管理運営事業の中に含ませた方がよいのではないか。 ●達成状況という面からみれば、幼稚園と中学校との関りというのは含めない方がよいのではないか。 ●地域との交流は、一過性の繋がりであれば、含めない方がよいのではないか。 ●子育て支援は、子どもに対する直接的な支援と、保護者に対する支援の両面があると思う。保護者に対する支援については、乳幼児等医療費助成事業が小学校6年生まで伸びたが、中学校3年生まで拡大してほしい。三笠市や岩見沢市の方が子育てしやすいということで流出しないよう、拡大を図ってほしい。
8		(8) 学校教育	第3部会 学務課、指導室、生涯学習・スポーツ振興課	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもの数が減ってきているので、子育て支援の一つとして、給食費を無償化にするよう努めてほしい。
9		(9) 芸術・文化・生涯学習	第3部会 生涯学習・スポーツ振興課、サテライト・キャンパス推進室	<ul style="list-style-type: none"> ●合宿誘致等の推進にあたっては、先進都市の実態調査が必要だと思う。 ●市民への周知やインパクトのためには、一流スポーツ選手の合宿も試みてはどうか。 ●芸術・文化の鑑賞については、文化祭の参加者が少ないので周知をしてほしい。 ●サテライト・キャンパスは、指導者の育成を含め、もう少し内容を検討してほしい。 ●郷土史料館は、通年開館を検討することが目指す内容だったと思う。収蔵庫を含め、もっと充実させていくようにしてはならない。整備や資料の整理など、改良をお願いしたい。 ●文化財保護事業について、文化財をどう維持していくのか。おざなりにならないようにしてほしい。 ●無形文化財について、峰延地域では中学校が閉校し、小学校が閉校する。その中でどのように継承していくのか。本来は継承だけではなく、発掘していく必要があるものである。 ●竪坑櫓の前にある彫刻作品について、民間団体から撤去してほしいという要請が出ている。できるだけその要望が叶えられるようなかたちで検討を進めてほしい。 ●旧東栄小学校について、合宿所としての利用はできないのか。スポーツ施設に近いという利点がある場所なので、朽ち果てさせるのはもったいない。
10		(10) 男女共同参画	第3部会 秘書広報課、市民課	<ul style="list-style-type: none"> ●委員の推薦について、団体の長に依頼すると、その長が掛け持ちで様々な委員会に出席していることがある。様々な委員会等に女性が参画しやすいような方法を検討してほしい。
11		(11) 平和施策	第3部会 総務課、生活環境課	—

No.	6つの柱・施策の柱・施策	担当部会	市担当課	部会意見
第3楽章 豊かな景観あふれるエコロジーなまちづくり				
12	[4] 環境づくり	(12) 自然保護	第1部会 生活環境課	<ul style="list-style-type: none"> ●自然保護の観点として、宮島沼以外のことも考えていくべき。 ●生態系保護の観点から、飛来数が多くなっているマガンを宮島沼に集中させるのではなく、分散させた方がよい。
13		(13) 環境行動	第1部会 生活環境課	<ul style="list-style-type: none"> ●環境美化の取り組みは、美唄クリーン作戦以外にも町内会独自でも取り組んでいることから、こうした参加者の把握にも努めるべきではないか。
14		(14) ごみ処理	第1部会 生活環境課	<ul style="list-style-type: none"> ●市が不法投棄に対して対策を取ることをアピールすることが、抑止力になる。 ●不法投棄の多いところに鳥井を設置するだけで、不法投棄が減ると聞いている。そうした工夫も必要ではないか。 ●堆肥については生ごみを原料にしており、調味料等も含まれているため、難しいところであるが、今後工夫をして販売の促進につなげる必要がある。 ●学校教育の中で、子どもたちにごみの分別を通して、環境保護について考えてもらおうとよい。
15	[5] うるおいづくり	(15) 都市基盤整備	第2部会 都市建築住宅課、都市整備課、上下水道課、危機管理対策室	<ul style="list-style-type: none"> ●春先に道路がガタガタになる箇所があり、高齢者等が歩きにくく危険なことから、補修を行ってほしい。 ●空き家対策に取り組んでほしい。
16		(16) 景観・緑づくり	第1部会 都市整備課、農政課	<ul style="list-style-type: none"> ●事業内容が専門的なので、事務事業の概要が分かる資料があるとよい。
第4楽章 誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり				
17	[6] 健康づくり	(17) 保健	第2部会 健康推進課、こども未来課、市民課、学務課	<ul style="list-style-type: none"> ●市民アンケートの「1年間で健診を受診した市民の割合」と「自分が健康だと思う市民の割合」について、年齢別に整理した方が分かりやすい。 ●「地域が主体となって健康づくりに取り組んでいる活動家数」の目標値と実績値にかなりの乖離があるので、実態に合わせた目標値に見直した方がよい。
18		(18) 地域医療	第2部会 医療等拠点づくり推進室、健康推進課、病院事務局	<ul style="list-style-type: none"> ●市民をどんどん巻き込んで、ふるさと美唄のまちづくりを行ってほしい。 ●市民検討委員会は必ず行ってほしい。
19	[7] 福祉のまちづくり	(19) 障がい者福祉	第2部会 地域福祉課	—
20		(20) 高齢者福祉	第2部会 高齢福祉課、地域福祉課、恵風(祥)園、市民課	<ul style="list-style-type: none"> ●町内会の数は減少しているが、これからは人と人とのつながりが益々大切になっていく。連合会などの大きな組織より、小さくても地域に密着した団体を育てていく方が大切ではないか。 ●高齢者の生きがいづくりが大切なので、高齢者が働くことに関しても、手当てしなければならない。 ●シルバー人材センターで働く登録者の対応があまりよくない。シルバー人材センターに補助金を支出しているのであれば、登録者の教育をしっかりと行ってほしい。

No.	6つの柱・施策の柱・施策	担当部会	市担当課	部会意見
第5楽章 安全で安心して住めるまちづくり				
21	[8] 安全づくり	(21) 防災・防犯・交通安全	第2部会 危機管理対策室、生活環境課	●市民ボランティアとして、すきやき隊や青少年指導員等の団体が安全運動を行っている。市の事業ではないが、ここで触れておいた方がよいのではないか。
22		(22) 消防	第2部会 消防本部	●今後も引続き事業を実施のうえ、市民の安全安心に努めてほしい。
23	[9] 安心づくり	(23) 消費者保護	第2部会 生活環境課	●警察や消費者協会に相談がくるが、直接業者に連絡しなくてはならないこともあり、別室に相談室を設けてほしい。 ●自分が騙されているとも思わず、被害の届け出が出てこない事例があると思う。今後、対策を検討してほしい。 ●今後も現在の取組みをさらに充実してほしい。
24		(24) 雇用対策	第1部会 経済観光課、高齢福祉課	●市が進めている北海道ベースボールアカデミーの選手雇用について、企業への支援を検討してほしい。
25		(25) コミュニティ	第2部会 地域福祉課、企画財政課、秘書広報課	●市内には、町内会の連合会がない。市は、町内会は民間組織なので、行政が関わるべきでないという立場をとっている。連合町内会組織をつくり、各単位町内会組織が助けあって、解散しそうなところがあれば支援していくことが必要ではないか。市が連合町内会組織をつくるような手立てをして、会長、副会長などの役員と市が充分な連携を取りながら、美唄の福祉、市民活動を進めてほしい。 ●地域応援チームは良い制度であり、今後も継続してほしいので、市民に制度をよく知ってもらえるよう、更に周知を行ってほしい。 ●町内会の役員の担い手がいないという理由で、町内会を解散したケースがある。町内会が減少すれば行政との連携ができなくなるので、町内会が健全に活動できるよう、対策を検討してほしい。 ●町内会に入らない方が増えており、市としてもこうしたケースを少なくする努力が必要ではないか。 ●自治組織代表者会議は、行政と市民の対峙的な会議ではなく、町内会の活動についての話し合いを行うような連絡調整的な会議であってほしい。 ●人づくり、地域づくりに焦点を当ててほしい。 ●住んでいる人によって地域力が異なるので、一元的に同じようなことはできない。それぞれの町内会が持っている地域力について、ブロックごとに検討する価値があるのではないか。札幌でもバラバラだった地域を統合するツールとして、高校生を含む地域の人たちが、身近な情報を持ち寄って新聞を作っているところもある。ブロックごとに議論することがよいのではないか。
最終楽章 みんなで力を合わせるまちづくり				
26	[10] 地域経営の確立	(26) 協働のまちづくり	第3部会 秘書広報課、企画財政課、サテライト・キャンパス推進室	●サテライト・キャンパスは、人材育成という部分からすると、ただ聞くだけ、実習するだけ、受講者数を増やすだけではなく、リーダーとなる人材を養成するためという視点も必要ではないか。参加人員が多い、少ないに拘らなくてよい。スペシャルなリーダーを養成する方法を検討してほしい。
27		(27) 行財政運営(評価対象外)	—	—

